

雑誌・WEB・YouTube・書籍を通し各地の地域づくりを取り上げています。

●住生活産業事業総合雑誌「ハウジング・トリビューン」(創樹社) 隔週連載

<https://honline.sohjusha.co.jp/> 「田舎再生の現場から」。

新たな発想による暮らしと住まい、町づくりを紹介。

雑誌掲載後、サイトで配信。YouTubeも連動しています。

<https://honline.sohjusha.co.jp/rensai/kanemaru-report/> 文・金丸弘美



写真左から、福岡県福津市「グラノ24Kぶどうの樹のグランピング」、東京都谷中「町をホテルにする HAGISO」、イタリア・アグリツーリズム、和歌山県田辺市龍神村ジャム加工。

●月刊『クリンネス』(一般財団法人 環境文化創造研究所)で連載中

<https://www.kanbunken.org/>

新規就農支援、脱炭素、移住・定住支援、人材育成事業など地方創生の取り組みを紹介。

https://www.maff.go.jp/j/new_farmer/n_syunou/roudou.html

イカリ消毒が母体。 <https://www.ikari.co.jp/> 全国100か所の事業所で冊子は配布。



●食の雑誌『味の味』(アイデア)エッセイ「地食が面白い」隔月連載中 <http://www.ajinoaji.com/>

全国各地の、ここならではの食や食の地域づくりを紹介。連載は13年目に！！

●「月刊 NOSAI」(公益社団法人全国農業共済協会=NOSAI協会)

http://www.nosai.or.jp/nosai_kasou/syuppan.html「農と食で高める地域の力」連載中。

農業で地域に活力を作る各地の活動を集。毎回、9ページで紹介。



(写真左から『味の味』と掲載の「宿雛かぼちゃ」、『月刊 NOSAI』表紙)

●WEB 連載中！「金丸弘美のニッポンはおいしい！」

WAN (Women's Action Network) は社会学者・上野千鶴子先生 (東大名誉教授) が理事長のネットワーク。 <https://wan.or.jp/ueno> 連載はサイトから無料で読むことができます。

<http://www.banraisya.co.jp/kanamaru/yotei/yoteidetail.php?&no=768&a=2017>



写真は左から、長野県塩尻市・村上かほりさん、北海道十勝平野・村上智華さん、山口県周防大島・松嶋智明さん、埼玉県秩父市・吉川由美さん。ほか、全国各地の女性たちの取り組みを紹介。

●【金丸弘美 特別寄稿】もっと先の未来への歩み(合同出版) WEBで連載配信中です。

<https://www.godo-shuppan.co.jp/news/n35062.html>

◎第1弾 4期目のたなべ未来創造塾(和歌山県田辺市)

<https://www.godo-shuppan.co.jp/news/n33535.html>

◎第2弾 農村観光の本場からの最新レポート(イタリア:エミリア・ロマーニャ州)

<https://www.godo-shuppan.co.jp/news/n34744.html>

◎第3弾 福井県大野市のそばのブランド化とプロモーションのその後

<https://www.godo-shuppan.co.jp/news/n34744.html>

◎第4弾 コロナ禍に起きている若者たちの関心・需要の変化

<https://www.godo-shuppan.co.jp/news/n36166.html>

◎第5弾 イタリア料理を世界に知らしめた本が翻訳され登場

<https://www.godo-shuppan.co.jp/news/n37340.html>

◎第6弾 地域の食をブランドにする 食のテキストづくりとワークショップ

<https://www.godo-shuppan.co.jp/news/n37340.html>

◎第7弾 直売所プラスαの売り先を工夫して自慢の野菜はすべて売り切る

<https://www.godo-shuppan.co.jp/news/n37500.html>

◎第8弾 「イタリア・スローフードに学ぶ地域農産物のアピール」

<https://www.godo-shuppan.co.jp/news/n39321.html>

◎第9弾 若者に届く移住・起業支援の施策(和歌山県田辺市、高知県)

<https://www.godo-shuppan.co.jp/news/n42713.html>



(写真は、イタリア・エミリア＝ロマーナ州のアグリツーリズム)

●WEB 人と地域を元気にする地産地消の給食改革！ 文・金丸弘美 note 合同出版連携

【第1弾＝岡山県笠岡市】医療法人緑十字会笠岡中央病院

https://note.com/godo_shuppan/n/n204e2b09fae7

【第2弾＝新潟県新潟市】株式会社総合フードサービス

https://note.com/godo_shuppan/n/nec2ab92053f5

【第3弾＝東京都立川市】「ふじようちえん」(食育実践のトップランナーです)

https://note.com/godo_shuppan/n/nc3d358c816e3



(写真は、笠岡中央病院)

●『調査研究情報誌「ECPR」』Vol.45 号特集「地域の食をブランドにする」(特集7ページ)

(発行(公財)えひめ地域政策研究センター)<http://www.ecpr.or.jp/> 文・金丸弘美

WEB サイトから観ることができます。<https://www.godo-shuppan.co.jp/news/n37499.html>



(写真左から今治市「さいさいきて屋のタルト」、東京都八王子「牧場の料理会」、茨城県「常陸秋そばのテキスト」)

■新聞掲載「話題の最前線」Yahoo! ニュースで配信。

1・観光と無縁だった農漁村の宿をマッチング 予約サイト「gochi 荘」

<https://www.nikkan-gendai.com/articles/view/life/287734> (WEB版)

2・富山から和歌山へ 地域を越えて広がる起業支援 「たなべ未来創造塾」

<https://www.nikkan-gendai.com/articles/view/life/289158> (WEB版)

3・過疎高齢化の島 産物を生かし経済効果と雇用を生んだ「瀬戸内ジャムズガーデン」

<https://www.nikkan-gendai.com/articles/view/life/290754> (WEB版)

4・九州トップの売り上げと動員を誇る「道の駅むなかた」

<https://www.nikkan-gendai.com/articles/view/life/292688> (WEB版)

5・農業と旅や観光に結びつけて一年中にぎあう長崎県「おおむら夢ファームシュシュ」

<https://www.nikkan-gendai.com/articles/view/life/295157> (WEB版)



写真左から「gochi 荘」岡田奈穂子さん、和歌山県田辺市・金丸知弘・りさ夫妻、山口県周防大島「瀬戸内ジャムズガーデン」、長崎県大村市「おおむら夢ファームシュシュ」

●YouTubeで配信中。「うーちゃんねる 金丸弘美」を検索で観ることができます)

●「食育で育む未来の町づくり」(制作:京都府宇治市&「うじテレビ」)

<https://www.youtube.com/watch?v=-ztpU9TX8J8> 各地の具体的事例を写真で紹介します。

●「食育のマエストロが伝える宇治の農業の可能性」岡田剛治(農家)×金丸弘美

<https://www.youtube.com/watch?v=XTcf3RY-qcA>

宇治市は食育に力を入れており番組は市との連携事業で生まれたものです。

登場するのは、・鹿児島県・徳之島(世界自然遺産登録)「長寿シンポジウム・給食・食育」

・「100歳まで元気な人はなにを食べているか?」辨野義己著(三笠書房)

・長野県・滋賀県が長寿県な理由 ・兵庫県豊岡市「コウノトリ育む米」

・茨城県小美玉市「食のワークショップ」 ・愛知県名古屋市「オーガニック朝市」

・埼玉県さいたま市「さいたまヨーロッパ野菜研究会」と学校給食

・愛媛県今治市「さいさいきて屋」直売所のトップモデル などで。



写真は「さいたまヨーロッパ野菜研究会」の野菜たち

●【地方創生カレッジ 金丸弘美】で(検索)し登録すれば無料で観ることができます。

好評配信中!「地域資源を生かす幸せな田舎の作り方～小さな経済の地域力・田舎力～」

<https://chihouseisei-college.jp/e-learning/basic/industrialization/127.html>

第1週/ユニット1 食のテキスト化から創るブランディング (動画:6本、合計:56分)

高知県中土佐町「大野見エコロジーファーマーズ」。高知県農業創造人材育成事業。

大分県竹田市「サフラン」のテキスト化とワークショップなど。

第2週/ユニット2 食をプロモーションする (動画:6本、合計:55分)

茨城県常陸太田市「常陸秋そば」。岐阜県高山市「宿雛かぼちゃ」。秋田県能代市「能代のネギ」など。

第3週/ユニット3 個性を育む味覚ワークショップ (動画:6本、合計:61分)

個性を育む「味覚の授業」。大学での体験授業「牧場の料理会」。フランスでのワークショップ。

茨城県小美玉市での食のワークショップ。兵庫県豊岡市「コウノトリ育む米」など。

第4週/ユニット4 農村宿泊と観光アグリツーリズム (動画:6本、合計:66分)

農村観光とアグリツーリズム。スローフードとプロモーション事業。イタリアの料理専門学校 ICEF



(写真は、ギリシャでの食のワークショップ、茨城県小美玉市の食のワークショップ)

●「地方創生」講座「自治政策講座アーカイブス」<https://www.copa-web.net/movie>

私の講座は「里山産業論 まちづくりと『食の戦略』 3部作」です。

制作・配信は自治体議会政策学会です。<https://www.copa-web.net/>



(写真は、長崎県大村市「おおむら夢ファームシュシュ」)

●発酵食品がいま再び脚光を浴びているワケ(「月刊東京人」WEB 版配信) 文・金丸弘美

<https://toyokeizai.net/articles/-/322309>

甘酒、ヨーグルト、キムチ、お酢などを始め、納豆、ぬか床で漬ける糠漬けなど、発酵食品の専門店も生まれるほどの人気に。腸内環境をよくして免疫力を高めると注目されている。



写真は、静岡県「ぬかどっこ」の糠漬け(左)、東京都八王子の牧場の料理と牧場。



■「ゆるい島のスローライフ」(学研教育出版) 奄美諸島・徳之島が舞台。世界自然遺産に認定
金丸弘美著 絵:唐仁原教久、写真:阿部雄介 小泉武夫氏推薦(東京農業大学名誉教授)

<http://www.banraisya.co.jp/kanamaru/book/bookdetail.php?no=1118>

「【島 Interview | 訊く】金丸弘美さんインタビュー「島にあるものが素敵なんだ」(離島経済新聞)

<https://ritokey.com/article/interview/7471>

■絶賛発売中 「地域の食をブランドにする! 食のテキストを作ろう」

岩波ブックレット(岩波書店) 金丸弘美著 本体 620 円(税込み 670 円)

<http://www.banraisya.co.jp/kanamaru/book/bookdetail.php?no=209&a=1>

「読売新聞」「日本農業新聞」「FCAJ ジャーナル」「月刊 NOSAI」など 11 メディアで紹介。



(写真は、山口県長門市での食のワークショップ)

金丸弘美の好評の食と地域づくりの本（ぜひ図書館にリクエストしてください）



『田舎力 ヒト・夢・カネが集まる5つの法則』(NHK 生活人新書) 15刷り

『食にまつわる55の不都合な真実』(ディスカヴァー携書) 3刷り

『田舎の力が未来をつくる』ヒト・カネ・コが持続するローカルからの変革』(合同出版)

『幸せな田舎のつくりかた 地域の誇りが人を繋ぎ、小さな経済を動かす』(学芸出版) 4刷り

『里山産業論 「食の戦略」が六次産業を超える』(角川新書)

『タカラは足元にあり！ 地方経済活性化戦略』(合同出版)



『実践! 田舎力—小さくても経済が回る5つの方法』(NHK 新書)

『創造的な食育ワークショップ』(岩波書店)

『えんや—写真集・唐津くんち』(家の光協会)

『給食で育つ賢い子ども』(ソトコト新書)

『美味しい田舎のつくりかた：地域の味が、人をつなぎ、小さな経済を耕す』(学芸出版)



『地域ブランドを引き出す力 トータルマネジメントが田舎を変える!』(合同出版)

『「地元」の力 地域力創造 7つの法則』(NTT 出版)

『給食で育つ賢い子ども』(ソトコト新書)

『伊賀の里 新農業ビジネスただいま大奮闘』(NAP)

『子どもに伝えたい本物の食』(NTT 出版)

令和3年度地産地消コーディネーター育成研修会 インターネット動画配信のお知らせ

農林水産省の事業です。この委員をさせていただいています。

学校給食・病院食の地域連携・食育のトップモデルを紹介。

愛媛県今治市、岡山県・笠岡中央病院など素晴らしい取組が登場します。

ぜひみなさんで観ていただけると幸いです。

■基礎講座

1 「地産地消の意義と多面的な効果」

千葉大学大学院園芸学研究院 教授 櫻井 清一

2 「地産地消と食育のすすめ～愛媛県今治市の実践から～」

(一財) 今治地域地場産業振興センター 専務理事 安井 孝 (愛媛県)

3 「地場産物を活用した食育の推進」

女子栄養大学 名誉教授 金田 雅代

4 「これからの時代の地産地消」

東京農工大学大学院 農学部研究院教授 野見山敏雄

■実践講座

1 「病院給食での地場産物利用の取組と工夫」

医療法人緑十字会 笠岡中央病院

栄養科 管理栄養士 栗村 三枝(岡山県笠岡市)

(対談)彦根市立病院 栄養科 管理栄養士 大橋 佐智子

食環境ジャーナリスト・食総合プロデューサー 金丸 弘美

2 「生産者と学校、地域をつなぐ調整役の役割

～東京都日野市の給食、地場産農産物利用 39年のあゆみ～」

JA 東京みなみ 代表理事組合長 小林 和男 (東京都)

3 「直売所を軸とした給食への地場産物供給の体制づくり」

農産物直売所かしわで (千葉県柏市)

●動画のご視聴について

★視聴申込方法は下記にて案内。無料配信。

・ご視聴は無料、事前登録制です。

・ご視聴をご希望される方は、「参加申込書」、又は、メールに「動画配信の視聴希望」とご記入いただき、「都道府県、市町村、ご所属・部課名、お名前」を添えて、事務局までお申込下さい。

○申込先メールアドレス：chisan@kouryu.or.jp FAX 番号：03-5256-5211

(一財) 都市農山漁村交流活性化機構 (まちむら交流きこう)

担当：地域活性化チーム：上野・森岡・吉岡

https://www.kouryu.or.jp/information/20211215_1968/

循環型エネルギーの取組をされている豊岡和美さん講演。YouTubeで配信中。

日本ペンクラブ 環境委員会・第1回セミナー

「資本主義社会に循環型エネルギーを根付かせるには ―地方からの試みについて―」

<https://www.youtube.com/watch?v=LI-1Rbt96AU>

講師：一般社団法人徳島地域エネルギー 事務局長 豊岡和美さん <https://www.tene.jp/>
18分48秒以降で登場する「エネルギー・イズ・マネー」から里山の森林や都市剪定枝を使った木材チップの地産地消の熱利用。地域に経済と雇用を創る具体的活動が登場します。東急グループ、千葉市などが活用し大きな成果を生んでいます。

豊岡 和美(とよおか かずみ)さん

一般社団法人徳島地域エネルギー事務局長。環境省中央審議会政策部会委員。地元短大卒業、会社勤務。退職後、家業の一級建築士事務所のインテリアコーディネーターとして業務を行う。2003年～07年徳島県議会議員（1期）。2010年徳島小水力利用推進協議会結成、事務局長就任。2009～11勝浦郡上勝町「緑の分権改革」推進事業（総務省事業）委員。2011～12.徳島再生可能エネルギー協議会事務局長。2014～15農林水産省食糧安全局再生可能エネルギーグループ委員。

なお、金丸弘美は、日本ペンクラブ環境委員会副委員長をさせていただきます。

豊岡和美さんとはアドバイザーをさせていただきます

「エネルギーから経済を考える経営者ネットワーク会議」（鈴木悌介理事長）

<http://enekei.jp/>

でお目にかかり、彼女の行動力・実践力に感銘し、ぜひお話をお聴きしたいと願っていて、今回、実現したものです。

●脱炭素に関連し、総務省、環境省、農水省も支援・調査事業の補助があります。

「ローカル10、000プロジェクト」（総務省）

「ローカル脱炭素プロジェクトによる事業立上げの重点支援」

https://www.soumu.go.jp/main_content/000766959.pdf

「分散型エネルギーインフラプロジェクトの推進について」

https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/jichi_gyousei/c-gyousei/bunsan_infra.html

「人材面からの地域脱炭素支援」

「令和4年度総務省所管予算概算要求の概要 脱炭素は10億円の予算

https://www.soumu.go.jp/main_content/000768755.pdf

●「脱炭素化事業支援情報サイト（エネ特ポータル）」（環境省）

<https://www.env.go.jp/earth/earth/ondanka/enetoku/2022/>

農林水産省の予算でも「脱炭素推進」（P16）が組まれています。

●「令和4年度農村振興局関係予算概算要求の概要」（農林水産省）

<https://www.maff.go.jp/j/nousin/soumu/yosan/> 環境支援の補助も組まれています。